

進路通信

第5号 平成28年9月16日発行 大館鳳鳴高等学校 進路指導部

進取飛翔
自律共生
質実剛健

◆前期期末考査直前に迫る！ ～前期をどのように締めくくるのか？～

みなさん強歩大会お疲れ様でした。今年度も無事に強歩大会が終了し、全校生徒の皆さんには思い出に残る学校行事になったと思われまふ。さて、今年度の前期も今月で終わりとなります。来週より前期期末考査（9月20日～26日）が始まります。高校生にとって大切な**定期考査に計画的**に取り組んでいますか？**評定**を意識しながら勉強していますか？大変かもしれませんが最後まで諦めずに頑張りまふ。強歩大会で頑張れた皆さんはきっと**頑張れる**はずです！そして、前期期末考査が終わったら、必ずやり残した学習に取り組まふ。チャンスはこの時しかありませんよ。）

各自それぞれの目標に向かって、万全の体勢で後期に入って欲しいと思ひます。

◆センター試験の出願について

2017センター試験の出願受付が9月27日（火）～10月7日（金）の間で行われます。いよいよセンター試験が近づいてまいりました。また同時に**受験シーズン**が始まりつつあります。三年生の皆さんは、泣いても笑っても残り数ヶ月で**本番**がやってきます。悔いを残さないように毎日をお過ごしください。一、二年生の皆さんは先輩の頑張りをよく見ておきまふ。近い将来**同じ立場**になるのですよ。



◆進路指導室の情報を活用しよう



進路指導室にはいろいろな情報が詰まっています。例えば、赤本などの大学の過去問、小論文・面接の過去問、大学案内の冊子、就職・公務員の問題集などがたくさんあります。進路指導部としては全校生徒の皆さんにもっと頻繁に進路指導室を活用して頂きたいと思ひています。知りたい情報がありましたら、進路指導部の先生へ声をかけてください。

◆大学説明会について

次の日程で、大学による学部・学科の説明会が行われます。説明会に参加したい人は時間に遅れないように筆記用具持参で集まってください。

9月26日（月）岩手大学農学部里帰り訪問（13:00～14:00）
10月17日（月）秋田大学学部学科説明会（15:30～16:30）

◆各学年の9月の進路目標

< 一年生の目標 >

高校に入学して半年が経とうとしています。この半年間（前期）の高校生活を振り返り自己評価して下さい。良かった点は継続し、悪かった点は修正して下さい。また、模試の結果を分析して今後の目標を定めていこう。さらには前期の学習内容をまとめ期末考査に取り組んで下さい。

- ◎前期の学習内容の総復習と期末考査対策にしっかりと取り組む。（後期に向けて前期のやり残しを残さないこと。）
- ◎模擬試験の結果を分析し、今後の目標を立てる。（弱点補強と学習方法の再確認をしっかりと行うこと。）
- ◎高校での生活習慣・学習習慣の振り返り。（手帳を使い計画的に行動・学習することができたのか振り返ってみる。）

< 二年生の目標 >

いよいよ高校生活も折り返し地点が近づいてきました。秋は修学旅行やゼミ発表などの行事もありますが、自己の進路希望先を深く考える時期でもあります。第一志望を軸に志望校群を確定し入試対策を行うための情報収集を始めなければなりません。**「受験生になる」**という心構えが大事ですよ。

- ◎前期の学習内容の総復習と期末考査対策にしっかりと取り組む。（後期に向けて前期のやり残しを残さないこと。）
- ◎模擬試験の復習と結果の分析をしっかりと行う。（希望先の大学の偏差値を把握し、自己の弱点補強に努める。）
- ◎進路希望先について深く考える。（オープンキャンパスへの参加レポート、その他大学の情報を元に志望校群を絞り込み、受験の準備を始める。）

< 三年生の目標 >

模擬試験が次々に行われていますが復習を忘れずにしよう。休み時間など隙間時間にも積極的に学習に取り組む姿勢が欲しいです。センター試験まで4ヶ月となりましたが、ここからが合否を分ける勝負の時期と覚悟して毎日をお過ごし下さい。

- ◎「学力」を「合格力」へ転化していく。（分かっているところでは確実に点数がとれるように注意深く学習する。）
- ◎センターまで残り4ヶ月、個別試験まで残り5ヶ月半の学習計画を再設定する。（いよいよ本番が近づいてきました。一分一秒を大切に綿密な計画を立てて取り組むこと。）
- ◎就職・公務員希望者は本番でベストを出す。（就職・公務員試験が始まっています。今まで努力した成果を出せるように頑張ろう。）

「今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる。」

稲盛和夫

◆進路指導部からの挑戦状！（Quiz）の答え！！

前号で掲載したクイズの解答を紹介します。よく読んで下さい

- 問題1) 下記の表の(A)(B)(C)にあてはまる数字を答えよ。
 問題2) この表からいえることは何か答えよ。



東北大学・工学部	センター試験	個別試験	合計点
配点	450	800	1250
配点比率	1.0	1.8	—
合格者平均得点率	81.6 %	A) → 54.5 %	64.3 %
合格者平均得点	367	B) → 436	803
合格者得点比率	1.0	C) → 1.2	—

※ 数字は少数第2位を四捨五入する。

配点比率は1：1.8で、個別試験がセンター試験に比べ2倍近い比率となっており、一見「個別試験重視」「個別試験で挽回可能」と思いがちだが、合格者平均得点のセ試：個別比率は1：1.2となり、実際はセンター試験の比率が実際の配点より相対的に高いことが分かる。よって、個別試験の配点が高いからと言ってセンターを軽視する考えには根拠がなく、個別試験で挽回するのは相当難しい。（ただし、マーク形式の学力と記述式の学力では記述式の学力が身に付くまで時間がかかる。よって、今の時期は記述力を伸ばそう！）

◆京大生・医大生の先輩に学べ！

夏休みの8月17日（水）に、本校の先輩達が4名学校に講師として来校し、後輩達に大学のことや受験勉強の思い出について語ってくれました。

<講師の先輩達>

- 細谷享平さん（京都大学理学部1年生）
 齊藤佳南さん（弘前大学医学部医学科1年生）
 武藤日加さん（弘前大学医学部医学科1年生）
 太田真由さん（秋田大学医学部医学科4年生）

先輩達は、大学でのキャンパスライフはじめ、京都大学の勉強内容、医学部医学科の勉強内容・実習内容、受験期の思い出、勉強方法、鳳鳴高校でのライフスタイルや行事等の思い出について約2時間後輩達と懇談してくれました。

学ぶことが多くとても勉強になりました。ありがとうございました。



特集 進路指導部からのメッセージ

14年ぶりの里帰りのついでにポケモンをゲットしてきた進路副主任 肥田宗友

「3年生の合格体験を聞く会」その2

3月に開催された「3年生の合格体験を聞く会」の続きです。今回は、文系の会場で教員が話した内容の一部を取り上げます。理系会場に参加した方は聞けなかったと思うので、目を通してみてはいかがでしょうか。全く読まない人、読んで変わらなくてはと思っても変わらない人、読んで改善できる人、読む前から実行できている人、様々な場合が考えられますが、自身、及び友人はどのタイプでしょうか。

<1年生に向けて>

- ・なによりも**英数国の完成**が先です。
- ・模試で自分の位置はわかっているはずですが、自己分析をして、復習、演習量が不足している、授業に集中していないなど、なぜ悪いのか考えて、必ず**改善**して下さい。

<2年生就職希望者に向けて>

- ・就職希望者は、3年春には出願、夏の終わりには受験です。**大学入試より早い**ので、誰よりも早く**真剣**に受験勉強を始めて下さい。

<2年生文系志望者に向けて>

- ・文系のセンター試験は8科目と、理系より多いです。
- ・例年、4月のマーク模試からセンター試験まで平均**1.2倍**得点が伸びます。もちろん平均なので、下回る人も多いです。この数年は最高1.6倍程度の伸びです。
- ・センター試験の平均点は6割程度、900点満点では540点ぐらいですが、この得点では**国立大学の進学は難しいです**。7割程度あれば、国立大学の進学が濃厚になります。少なくとも**600点**はないと、厳しいです。

<全体に向けて>

- ・国立大学に進学したいなら、東北大学を目指して下さい。東北大学に進学したいなら、東京大学を目指して下さい。例年、目指している大学より、少し難易度が低い大学に合格する人が大多数です。目指している大学に合格できる人は、極わずかしきません。
- ・保護者に自分の考えをきちんと話して下さい。〇〇大学に行きたいだけではダメです。〇〇大学に進学したいのは、～を学び、卒業後は△△に就職したいからなど、まず**将来のビジョン**を伝えて下さい。そして、そのためにはお金が〇〇円かかるのでお願いしますと、お願いしましょう。また、伝えるだけでなく、合格に向けて努力をしましょう。

2017 大学入試センター試験まで

1 2 0 日